

年次支部協議会出席者名簿（平成27年5月30日）

年次支部協議会					懇親会			
年次	支部長	幹事長	副支部長等	支部協議会役員	支部長	幹事長	副支部長等	支部協議会役員
29			志邨 守夫				志邨 守夫	
30	堀合 辰夫		加藤 段一	(堀合 辰夫)	堀合 辰夫			(堀合 辰夫)
31			遠藤 喬介				遠藤 喬介	
32	岩瀬 順郊	石川 光弘			岩瀬 順郊	石川 光弘		
33	諏訪原和子							
35			成清 治道					
36	吉岡 昌昭	石川 捷敏			吉岡 昌昭	石川 捷敏		
37	庭山 卓	川島 豊臣	慶野 弘子		庭山 卓			
38			柴田 輝男					
39	白石 紀一		中村 利夫	小竹 正倫 高橋 丈雄	白石 紀一			小竹 正倫 高橋 丈雄
40	佐々木幸男		新井 孚 西山 勝凱 新井 嘉昭	(佐々木幸男)	佐々木幸男		新井 孚 西山 勝凱 新井 嘉昭	(佐々木幸男)
41	宮田 永生							
42		牧 教明		鈴木 康二		牧 教明		鈴木 康二
43			矢崎 勝					
44		小林 健一		松木 茂夫		小林 健一		松木 茂夫
45	相場 有二	山城 博光	竹谷 光子	室 勝弘 平岩 弘邦 (山城 博光)	相場 有二	山城 博光	竹谷 光子	室 勝弘 平岩 弘邦 (山城 博光)
46	半澤 勉	遠藤 一義		増田 晃次郎 才野 智裕		遠藤 一義		増田 晃次郎 才野 智裕
48	山口 隆司	佐藤 愛子		小田 眞一 (佐藤 愛子)	山口 隆司	佐藤 愛子		小田 眞一 (佐藤 愛子)
53	野田 明利	権守 隆男	高瀬 文秀	(野田 明利) (権守 隆男)				
54	掛水 省三			(掛水 省三)	掛水 省三			(掛水 省三)
55	川島 正博	岩崎 良三		川島 正博	岩崎 良三			
57	浜田 英明		田川 厚子 松村 聖子	乗兼 浩明	浜田 英明		田川 厚子 松村 聖子	乗兼 浩明
58	小暮 聡美							
元	竹内 恒雄	小川 学		(小川 学)		小川 学		(小川 学)
2	山本 卓	清水 裕之		(山本 卓)	山本 卓	清水 裕之		(山本 卓)
3			日野 慶宏				日野 慶宏	
11		久保 良太		(久保 良太)		久保 良太		(久保 良太)
26	分部由莉子	長谷部由莉						
計	19名	14名	16名	11名	12名	10名	9名	10名

# 年次支部協議会平成 27 年度事業計画案

2015 年 5 月 30 日

## 1.基本方針（規約第 2 条）

- (1) 年次支部との連携・親睦を図るとともに中央大学及び学会の施策を推進する。
- (2) 中央大学及び学会の発展・興隆に寄与する。
- (3) 新設支部の結成支援を行う。
  - ①白門会 2015（平成 26 年 3 月卒業）
  - ②平成 27 年 3 月卒業予定年次

## 2.会議など

### (1) 年次支部協議会全体会議

#### ア 第 1 回（予定）

日時：平成 27 年 5 月 30 日（土） 16：00～17：00 懇親会 17：30～19：30

議題：平成 26 年度事業報告について（各委員会報告含）

：平成 26 年度決算報告について

：平成 27 年度事業計画案について

：平成 27 年度予算計画案について

：学校法人中央大学評議員の推薦について報告・承認・紹介

：ホームシングデーの実施内容について

：年次支部協議会の現幹事任期満了（平成 28 年 3 月）に伴う幹事候補者の推薦について

：その他報告事項について

#### イ 第 2 回（予定）

日時：平成 27 年 12 月 19 日（土） 16：00～17：00 懇親会 17：30～19：30

議題：平成 27 年度事業計画の進捗状況について

：平成 28 年度事業計画案方針について

：平成 28 年度予算案方針について

：平成 28 年度幹事候補者の進捗状況について

：その他報告事項について

#### ウ 第 3 回（予定）

日時：平成 28 年 3 月 12 日（土） 16：00～17：00 懇親会 17：30～19：30

議題：平成 28 年度年次支部新執行部役員案・幹事候補案の承認について

：平成 27 年度事業計画の進捗状況について

：平成 28 年度事業計画案方針について

：平成 28 年度予算案方針について

：平成 28 年度スケジュール案について

：その他報告事項について

(2) 執行部役員会議

ア 第1回

日時：平成27年4月23日（木）18：00～21：00

議題：平成26年度事業報告について（各委員会報告含）

- ：平成26年度決算報告について
- ：平成27年度事業計画案について
- ：平成27年度予算計画案について
- ：学校法人中央大学評議員の推薦について報告・承認・紹介
- ：ホームジングデーの実施内容について
- ：その他報告事項について

イ 第2回（予定）→中止 以降必要に応じて実施予定

日時平成26年5月22日（金）18：30～20：30

議題：平成27年度事業計画案について

- ：平成27年度予算計画案について
- ：ホームジングデーの実施内容について
- ：その他報告事項について

ウ 第3回（予定）

日時：平成27年9月24日（木）18：30～20：30

議題：年次支部協議会の現幹事任期満了（平成28年3月）に伴う幹事候補者の推薦について（発送日9/24；提出期限12/19迄；新役員候補者案作成12/19）

- ：その他報告事項について

エ 第4回（予定）

日時：平成27年12月19日（土）14：00～15：30

議題：平成27年度事業計画の進捗状況について

- ：平成28年度事業計画案方針について
- ：平成28年度予算案方針について
- ：平成28年度幹事候補者の進捗状況について
- ：その他報告事項について

ウ 日時：平成28年1月15日（金）18：30～20：00 懇親会 20：30～21：30

議題：平成28年度年次支部新執行部役員案・幹事候補案の承認について

- ：平成27年度事業計画の進捗状況について
- ：平成28年度事業計画案方針について
- ：平成28年度予算案方針について
- ：平成28年度幹事候補者の進捗状況について
- ：平成28年度スケジュール案について

（執行部役員会平成28年4月21日（木）；年次支部協議会平成28年6月30日（木）

- ：その他報告事項について

## 2.各委員会実施事項

- (1) 学員交流委員会
- (2) 学生支援委員会
- (3) IT化推進委員会
- (4) 大学支援委員会
- (5) 広報部（会報）

## 年次支部協議会交流委員会 平成26年度事業報告

### 活動実績

- 1、若年層とのネットワーク構築の為、中堅年代支部（昭和50年代～平成元年）の支部長・幹事長との交流懇談会を開催
- 2、新卒業生（2015卒）の新支部創設支援の為、船上で開催された卒業パーティに参加（平成27年3月24日）全卒業生に向けた会報の説明をしながら卒業後の学会との関わりをPR（年次支部スタッフ数名参加）。初めての船上パーティであり大変好評であり、通常は学生達と関わる機会は少ないので、良い交流の場所となった。
- 3、ホームカミングデー時に、各年次支部との交流のコーナーを設置して情報交換を行った
- 4、各年次支部が開催するイベントへの参加協力

### 事業実績

- ・中堅年代支部との交流懇親会費 46,140円

## 年次支部学員交流委員会 平成27年度事業計画

- 1、事業の目的
  - ① 年次支部の世代を越えた学員同士の情報交換・親睦・交流を図る
  - ② 新卒支部、若手年代支部、現役学生等への交流会を通じて卒業後の支援・サポート体制作りを構築する
  - ③ 中堅年代支部（昭和50年代～平成元年）との交流懇談会の開催により、互いの理解・協力など連携を図る
- 2、今年度の事業概要
  - ① ホームカミングデー（10月25日開催予定）時の2015年新支部設立に向けて、支援協力体制を整える
  - ② 平成27年度新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等の協力）
  - ③ 若手支部・中堅支部会員との交流会を開催し、世代間の理解と親睦を深める
  - ④ 野球部選手達への激励会を開催予定（スポーツ応援団委員会と連携する）
    - 時期 未定、 場所 駿河台記念館、
    - 参加費 5000円程度 参加人数 未定
    - 野球応援観戦後、慰労会なども企画
  - ⑤ 解散支部（昭和26年会）へのサポート協力（イベントなどのご案内等）
- 3、事業予算 50000円
  - 内容 ・中堅支部・若手支部会員との交流懇親会開催
  - ・野球部選手への激励会&学員交流会開催

# 2015年度活動方針(案)

## 学生支援委員会

2015年5月30日  
年次支部協議会

### 2015年度学生支援委員会 運営方針(案)

1. 現状認識(Research & Review)	3. 計画(Plan)
<p>1. 中大現役生の進路選択に寄与する支援</p> <p>➢ 中大内定者・若手OB/OG(20代後半が中心)と中大現役就職活動生との接触機会の提供は、11回目。少人数での個別相談という形式が参加者の高い満足度を得られていることから、学生支援委員会の屋台骨の施策として継続の必要ありと史料。</p> <p>➢ ミッションを新たに整理。学生支援委員会は、自身のキャリアを真剣に考えている学生のために、ロールモデルとなるような中央大学出身のOBOGあるいは中央大学に関わりのある社会人との交流機会を提供する。その機会(学生と社会人の接点)を通じて、学生があと一歩で社会に自信をもって踏み出せる、自身のキャリア選択に寄与する支援とする。</p> <p>2. 中大OB/OGのネットワーク構築</p> <p>➢ 年次支部協議会のもとでコラボレーションも4回目。本企画の趣旨に賛同くださる幅広いOB/OGのネットワークの構築ならびに新学員の取り込みにも寄与できるよう、オペレーションも要検討。</p>	<p>【ターゲットも新たに整理】</p> <p>①今ある姿を認識し、また、あるべき姿を他者(学生/社会人)との対話を通して自覚できる学生</p> <p>②あるべき姿に近づくため粘り強く努力する行動力(実現力)のある学生</p> <p>1.進路選択支援企画(案)</p> <p>日程:2015年12月12日(土)前後(多摩校舎)</p> <p>規模:社会人(協力者)30人×就職活動生200人規模</p> <p>形式:①進路相談会(主に20代後半から30代前半)</p> <p>②南甲倶楽部とのコラボ:中央大学OB/OGによる基調講演</p> <p>2.外国人(留学生)向け相談会(案)</p> <p>日程:2015年11月14日(土) 前後(多摩校舎)</p> <p>規模:外国人(留学生)経験者社会人(協力者)数人×留学生20人規模</p> <p>形式:①進路相談会</p> <p>※CANVAS+(学生団体)主催の進路相談会(10月実施予定)と2015年度実施の年次支部協議会開催の進路相談会(12月実施予定)の双方の内容に一貫性を持たせる計画。(今年度初めての取組)</p>
<p>2. 2015年度目標(Goal)</p> <p>➢ 進路選択に寄与する支援策を通して、</p> <p>①学生は他者(学生/社会人)との対話を通して価値観の多様性を認識しキャリア選択の自走化に繋げる。</p> <p>②学生支援委員会は、自ら切り開くキャリアに自信をもち、社会へはばたく学生を輩出する支援を行う。同時に支援策を通して、卒業後の年次支部立ち上げに寄与するネットワークの構築に繋げる。</p>	

# 2015年度学生支援委員会 予算と活動スケジュール

4. 予算(Budget)		～施策費用～									準備	掲載・配布	支払時期
		～9月			10～12月			1～3月			合計 万円	備考 (試算)	
		～7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
委託手数料	デザイン企画費用				●							5万円	Poster・冊子 企画制作費
印刷費	告知チラシ					●						4万円	1枚20円×2,000人相 当×1回
	Poster				●							3万円	1枚150円×100部 ×2回
	冊子											15万円	1冊300円×500部想定
会議費	12月 昼食費用 (弁当+お茶等)						●					6万円	1200円×(参加社会人 30人+スタッフ20人) 計50人
その他	OB/OG選定 企画詳細調整												

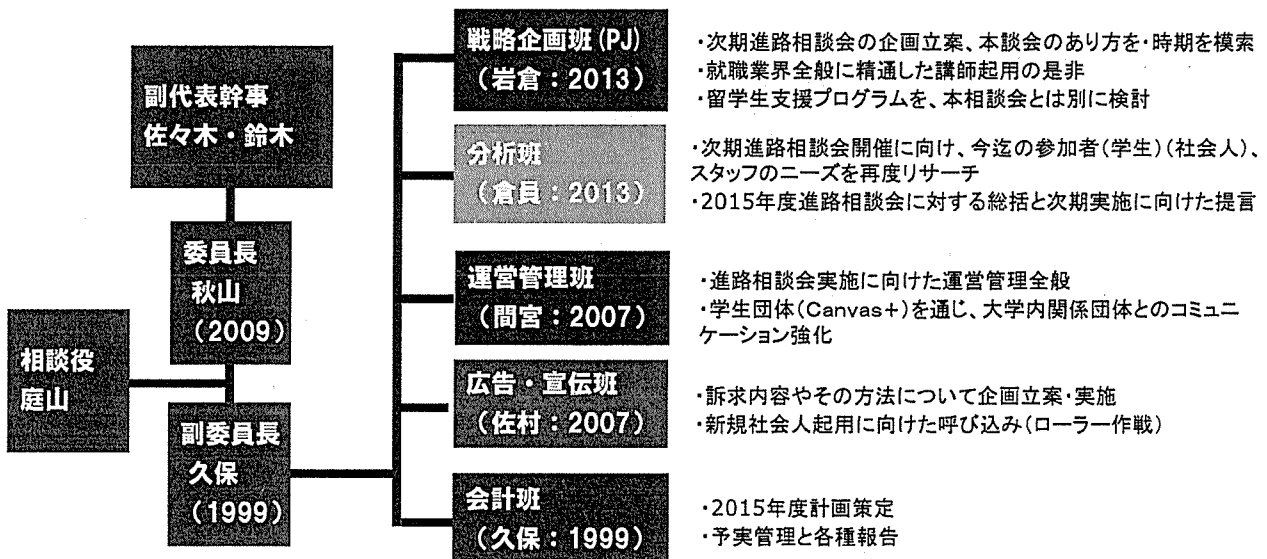
合計33万円

- > 学生(CANVAS)主催の進路相談会(10月:仮)と、年次支部協議会主催の進路相談会(12月)に一貫性を持たせた内容で今年度取り組む予定
- > 前年実績と本予算の差異について、前年はぎりぎりまで会場(部屋)が決まらなかったため、Poster回数を1回減、冊子の体裁を製本化せず、ホチキス止め資料にて対応。

## 2015年度 学生支援委員会執行部

### 環境変化に伴う検討事項 (Research)

- > プログラムの一部設計変更を2015年度も実施
  - ①実施場所・時期を再度見直し
  - ②学生主催と我々主催の進路相談会での訴求内容を連携
  - ③上記変更に伴い、事前の委員会本部との協議を行う。



⇒ 尚、進路相談会直前の準備・各種調整は、執行部全員で取り組む

## 大学支援委員会 2015年度事業計画

### 1. 大学支援委員会の目的

- (1) 中央大学ブランドの向上、強化に寄与する。
- (2) 大学のグローバル化戦略を支援する。
- (3) 大学が行なう、学生の実務教育について支援する。「実地応用の素を養う」の実践
- (4) 学生と企業や国、学生と地元との連携を支援する。「産学官連携」「地域連携」

### 2. 施策

#### (1) について(白門スポーツ応援団および広報部会との連携による)

- ① 学生スポーツの支援により、中央大学出身者(学生を含む)が多数、東京オリンピックに出場できるような応援をおこなう。特にブランド効果が大きい駅伝チームを支援する。  
また、運動部員の怪我や故障、病気に対応する医療支援体制の構築ができるよう検討を行う。
- ② 年次支部協議会「会報」で、あらゆる分野で活躍する中央大学関係者(大学、先生、学生、学員)の紹介を行う。また、社会貢献を積極的に行なっている学生の紹介を行う。
- ③ 予算: 35,000 円 (箱根駅伝応援 箱根大平台に横断幕を設置する費用)

#### (2) について(中央大学国際センターとの連携と協力)

- ① 留学生と日本人学生が楽しく交流できるような仕組みづくりに協力や支援を行う。
- ② 大学や学生(国際センター、G スクエア、国際学生寮)が実施する、  
「外国語スピーチコンテスト」「お祭り」「コンサート」等のイベントに協賛し、支援を行う。  
(開催費用の負担やスポンサー探し等の支援を実施)
- ③ 近々、白門海外支部との連携が密にとれる体制を構築する。
- ④ [GO GLOBAL JAPAN] (12月開催予定)の学内英語リサーチプレゼンテーション大会(学内代表を1チーム選考、10月開催予定)に協賛し、景品を提供する。(国際センターと協議済み)  
※中央大学は、「GGJ」の東日本第2ブロック(18大学)に所属、中央大学のほか、御茶ノ水女子大学、国際基督教大学、早稲田大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京海洋大学、一橋大学、亜細亜大学、杏林大学、芝浦工業大学、上智大学、昭和女子大学、創価大学、東洋大学、法政大学、武蔵野美術大学、明治大学の18大学
- ⑤ 予算: 65,000 円(「英語リサーチプレゼンテーション大会」学内選考 表彰景品費用)

#### (3) について(中央大学キャリアセンターと概要協議済み)

- ① キャリアセンターが9月以降開催予定の、「就業力育成のための実務講座」に講師紹介・派遣等の協力を行う。(開催 9月～翌3月)
- ② 予定される講座案(キャリアセンターと協議中)
  - ア. 地方創生と地域貢献(Uターン、Jターン、Iターンして)
  - イ. 都庁(公務員)をめざす君に



ウ. 新聞で読む経済知識

エ. 企業経営入門

オ. 社会人入門(マナー、一般的知識)

③講師は、公務員、新聞社、経済人、経営コンサルタント、アナリスト等

④予算：60,000円(講師交通費、謝礼等)

(4) について

①「産学官連携」「地域連携」の実現に向け、協力や支援を行なう。

社会的に問題となっている課題を、地域や関連する企業とともに解決しようとする取り組みについて支援する。(主として、文系学部学生の支援)

・ 例えば、地球環境問題、空き家問題、商店街のシャッター通り問題、多摩ニュータウンの再生等

・ 例えば、企業の商品開発のアイデア提案や事業化の推進、マーケティング等

②今期は、リサーチや支援体制の構築をテーマとして検討を行ない、意見を取りまとめる。

③費用:特になし

中央大学 委員会 年次支部協議会  
大学支援委員会 委員長 小田眞一  
(連絡先)

[u-uia@cc.nyu.ac.jp](mailto:u-uia@cc.nyu.ac.jp)  
(または) [u-uia@cc.nyu.ac.jp](mailto:u-uia@cc.nyu.ac.jp)  
(携帯) 090-6469-7737

※※

1. 各テーマについて、一緒に検討して下さる方を募集中です。

また、テーマについて、ご意見をお寄せください。

2. (3)の「学生の実務講座」講師を希望される方、講師をご紹介いただける方ご連絡ください。

白門スポーツ応援団  
2014年度事業報告および2015年度事業計画

1. 2014年度事業報告

(1) 駅伝チームのバックアップ

- ① 合宿、記録会、インカレ、予選会、箱根駅伝での応援を行ないました。
- ② 10月に年次支部横断幕「闘魂たぎる火と燃えよ」を製作しました。
- ③ 10月の白門祭（ホームカミングデー）で、学員の皆さまの協賛（1口1,000円、合計83,000円）をいただき、合計800個のりんごを差し入れができました。（感謝）
- ④ 11月に大学広報室より、年次支部の箱根駅伝応援について取材があり、12月発行の駅伝選手応援パンフレットに掲載されました。
- ⑤ 12月に箱根大平台のヘアピンカーブに、小田原在住の学员（白門45会）の協力を得て、年次支部の横断幕「闘魂たぎる火と燃えよ」を設置しました。
- ⑥ 1月2日 野村修也法科大学院教授、木下澄雄陸上競技部総監督に、中央大学を代表して箱根大平台地主様あてに挨拶をしていただきました。
- ⑦ 1月2日・3日に、学員の皆さまが各所で応援を行ないました。

(2) 大学運動部の応援・・・「世代を超えた応援が年次の連携につながる」の信念で

① 応援した主なスポーツ

野球部、準硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、水泳部、バレー部  
バスケットボール部、ボート部、相撲部等

- ② 適宜学员同士で懇親を行い、シーズン終了後は選手の激励会を行いました。

2. 2015年度事業計画

2014年度と同様の事業を行う予定です。

駅伝チーム以外の運動部にも、広く応援の輪を広げたいと思います。

以上

中央大学 委員会 年次支部協議会  
白門スポーツ応援団 団長 高橋丈雄

## 年次支部協議会広報部 平成27年度事業計画

### 1、事業の名称

年次支部協議会 会報の発行 及び 年支部協議会広報活動

### 2、事業主体

中央大学学会年次支部協議会 広報部会（担当責任者 佐藤愛子広報部長）

### 3、事業目的

- ① 会員全体の緊密なネットワークを構築するために、定期的に会報を発行しホームページの推進と共に、年次支部協議会の広報活動を活発化させ、中央大学の貢献に寄与すること
- ② 会員や学生への広範囲な取材を通じ、年次、地域、職域を超えて参加出来る様な大学関連行事、支部活動の様々な情報を提供することにより、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする
- ③ 現役学生に対する就職支援、進路相談の情報を提供する
- ④ 新卒会員に対しての学会及び年次支部協議会のPRや多くの著名なOB会員の紹介シリーズの掲載も含め、卒業後のサポート体制作りを推進していく

### 4、事業概要

年間2回程度の会報発行予定

- ① 年次支部協議会事業計画、活動報告、各委員会活動報告
- ② 各支部活動状況紹介、イベント・交流会案内
- ③ ホームカミングデー等の大学関連行事、学生スポーツ応援、音楽会演奏会、講演会等の案内、活躍している学生・サークルの紹介
- ④ 会員OBへの学生支援（就活・復興支援などボランティア活動）の協力依頼
- ⑤ 記載内容は、従来、会員時報、各支部の会報に委ねてきたが、会員時報などで紹介されないようなオリジナルな記事を掲載する

### 5、期待される成果

- ① 会員及び準会員に年次支部への加入を促し、年次支部協議会の存在認識や学会の活動内容の理解がない多くの一般会員にPR効果が期待できる
- ② 会報発行が年次や地域を越えた一般会員、若い世代への幅広い情報提供になり、交流機会の増加、学生への支援活動等の宣伝が、会員及び準会員の大学ネットワーク構築にも貢献出来る

### 6、会報発行実施時期

平成27年度は、27年10月、28年3月頃に2回発行予定

7、会報発行収支予算

会報発行部数：10月発行 1000部（配布先：各支部 500部、本部配布 300部、その他 200部）、3月発行 7000部（配布先：準会員 6000部、各支部 500部、本部配布 300部、その他 200部）

会報発行予算：

・総額 700,000円の内

・ 員会本部への支援申請額：600,000円、 年次支部負担 100,000円

① 4号（1000部）250,000円

② 5号（7000部）450,000円

## 年次支部協議会平成27年度予算編成について

### 1. 収入の部

- (1) 年会費は前年度を基に計上。
- (2) 懇親会費は参加者負担金を計上。(約3回分)
- (3) 事業活動費は事業支援費等に対する助成金(学生支援委員会・広報部)を見込んで計上。
- (4) その他の収入は普通預金利息を計上模擬店売上(ホームカミングデー)は不確定のため項目のみ計上した。

### 2. 支出の部

- (1) 会議会合費は会議実施経費および懇親会費(個人負担)と助成金を計上。
- (2) 通信費は年次支部協議会、執行役員会、全体会議等の開催通知送料他を計上。
- (3) 印刷費は会議等の資料および封筒の印刷代を計上。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会用封筒作成、事務局文具費等を計上。
- (5) 手数料は諸費用の支払い及び預金引出手数料等を計上。
- (6) 事業支援費
  - ① 学員交流委員会へは若年年次支部・新卒支部等へ積極的な働きかけを行うための経費として。
  - ② 学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動費として計上。
  - ③ IT化推進委員会へは年次支部協議会として全ての卒業年次支部とのネットワークの構築および、その情報化支援活動費として。
  - ④ 大学支援委員会(大学が行うグローバル化支援等の情報収集及び支援等)。
  - ⑤ 広報部は年次支部協議会会報の年2回発行(卒業生配付用含む)を予定し計上。

\* 平成26年度実施形態を参考にして予算案を作成 \*

### 平成27年度年次支部協議会収支予算案

収入の部		支出の部	
年会費	300,000	会議会合費	600,000
懇親会費	400,000	通信費	60,000
事業活動費 (助成金申請)	1,130,000	印刷費	40,000
学生支援委員会	330,000	消耗品費	10,000
広報部(会報発行)	700,000	手数料	5,000
年次支部活動費	100,000	事業支援費	1,280,000
その他の収入	600	学員交流委員会	50,000
利息収入	600	学生支援委員会	330,000
模擬店売上 (ホームカミングデー)	0	IT化推進委員会	100,000
		大学支援委員会 (グローバル化支援)	65,000
		スポーツ応援団委員会 (箱根駅伝横断幕設置等)	35,000
		広報部(会報発行)	700,000
小計	1,830,600	小計	1,995,000
前期繰越金	3,914,612	次期繰越金	3,750,212
合計	5,745,212	合計	5,745,212

平成27年5月30日  
年次支部協議会  
会計幹事 平岩弘邦

現在までにホームカミングデー運営委員会で決定したことの概要をお知らせいたします。  
キーワードは以下の3点です。①中央大学創立130周年 ②9号館企画の充実 ③参加者の増員

1. タイトル 第24回中央大学ホームカミングデー —白門学員祭—
2. 開催日時 平成27年10月25日(日) 10:00~16:00
3. 開催形態 主催: 学校法人中央大学 共催: 中央大学学員会
4. 目的 卒業生と大学との絆を深め、卒業生相互のヒューマンネットワークをさらに広げ、ひいては本学発展の基盤を強化する
5. 目標 5000人
6. コンセプト 創立130周年を起点に輝く未来を創造しよう
7. メイン会場=ペDESTリアンデッキ上
  - ・セントラルプラザにメインステージ設置
  - ・総合案内テント、学員会本部テント設置
  - ・模擬店テント、生活相談テント設置
  - ・丸テーブル、パイプ椅子多数設置
  - ・学生団体による演奏、演技 13:00
  - ・福引抽選会 14:30
  - ・校歌斉唱 15:00
8. 9号館企画=クレセントホール 10:00~11:30
  - ・10:00から本学の歴史を映像で紹介
  - ・開式、校歌斉唱
  - ・創立130周年特別企画
    - 理事長、学長、学員会会長、来賓挨拶
    - 中長期事業計画発表
    - 創立130周年記念論文コンテスト表彰
    - 親子三代卒業生表彰
    - 中央の絆
9. その他の企画 11:00~14:30
  - ・寄席(中大落研出身落語家勢揃い)
  - ・対談「東京が動く ~白門力で東京再生を~」理工学部教授
  - ・呈茶 虚白庵
  - ・親子企画 似顔絵、書道、親子スポーツ他